

## 仕様表

	KHK05-2276:6L	KHK05-2351:8L	KHK05-2368:10L
使用サイズ(約)	径25×高さ31(cm)	径25×高さ37(cm)	径25×高さ42.5(cm)
収納サイズ(約)	径25×高さ25(cm)	径25×高さ31(cm)	径25×高さ36.5(cm)
製品重量(約)	1.37kg	1.52kg	1.72kg
実使用容量(約)	6L	8L	10L
保冷効力(約)	21℃	20℃	19℃
コップ容量(約)	(大) 225ml・(小) 170ml		
品質表示	材料の種類/本体:ポリプロピレン(耐熱温度(約)120℃・耐冷温度(約)-20℃)、スチール 断熱材:ポリスチレン(発泡スチロール) 内容器:アルミニウム コップ:ポリプロピレン(耐熱温度(約)120℃・耐冷温度(約)-20℃) 内ふた:ポリプロピレン(耐熱温度(約)120℃・耐冷温度(約)-20℃) ふた・ハンドル・コック部:ポリプロピレン、ポリエチレン、ナイロン、シリコン、ステンレス鋼		

- 使用サイズは、スタンドを立てて、ハンドルを倒した状態の外寸です。
- 保冷効力は、JIS規格「携帯用クーラーボックス」の保冷試験方法を準用した試験結果の数値です。
  - ①内容器のほぼ中心に温度計の感温部が位置するように固定し、内容器に実用量の80%の冷水を入れて水の温度を1~4℃に調節する。
  - ②内ふた・コップをセットしてふたを閉め、水の温度(T1)を測定後、直ちにあらかじめ40±2℃に調整された雰囲気に入れる。
  - ③8時間後に水の温度(T2)を測定し、(T2)と(T1)との温度差を求めて保冷効力とする。

## 「故障かな？」と思ったら

次の項目について点検を行ってください。いずれの場合にも当てはまらない場合は、お買い上げの販売店又は、当社へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
飲料物が ●コックの注ぎ口から漏れる。 ●コックの取付部から漏れる。	コックの中に何か挟まって(詰まっていますか?)	水を入れて、異物を流してください。
	コックの本体が緩んでいませんか?	コックナットをきっちり締め直してください。

- コック部とパッキン類は消耗品です。1年を目安にご確認ください。消耗がある場合は、品番、品名をご確認の上、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

## アフターサービスについて

この度は、当社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。  
 ■製品に関してお気づきの点・ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

※仕様その他は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

輸入販売元

**コーナン**商事株式会社

大阪府堺市西区鳳東町6丁637番地1

MADE IN CHINA 19js-feb

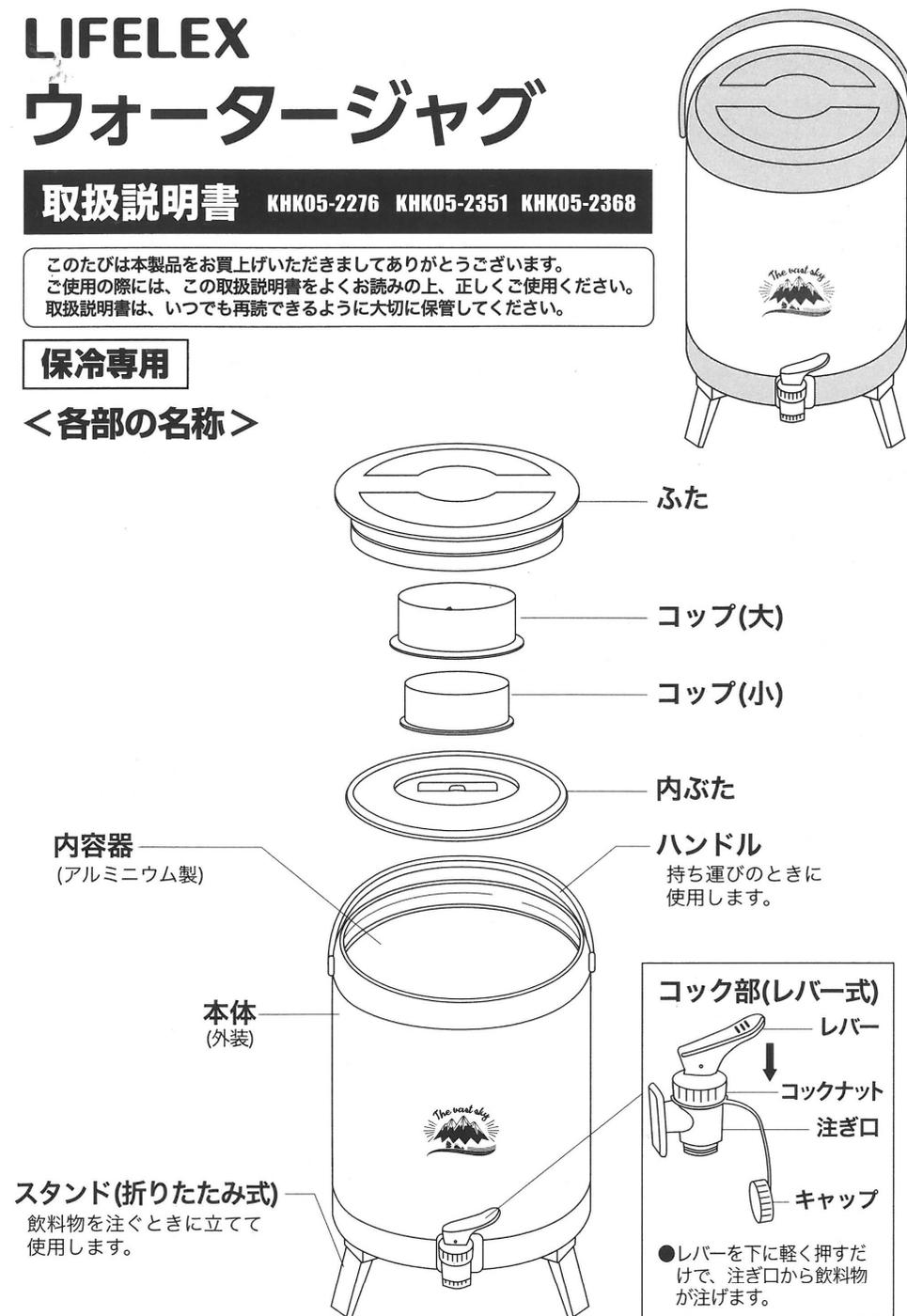
# LIFELEX ウォータージャグ

## 取扱説明書 KHK05-2276 KHK05-2351 KHK05-2368

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
 ご使用の際には、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
 取扱説明書は、いつでも再読できるように大切に保管してください。

## 保冷専用

## <各部の名称>



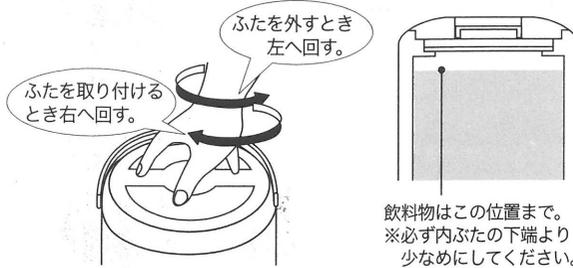
※イラストはイメージです。

## ご使用方法

※ご使用前に、内容器・ふた・内ふた・コップ(大)(小)をよく洗浄してください。

### 飲料物の入れ方

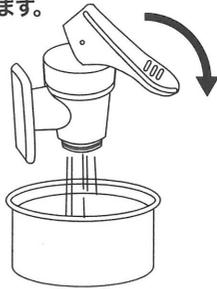
- ① ふたを左に回して外し、コップ(大)(小)・内ふたを取り外してください。
- ② 内容器に飲料物を注ぐように入れてください。  
※飲料物の量は必ず内ふたの下端より少なめにしてください。
- ③ 内ふた・コップ(大)(小)をセットしてふたを右に回してしっかりと閉めてください。



※注意：ふたには、密閉性はありません。飲料物がある状態で本体が転倒しますと上部から流れ出す恐れがあります。

### 飲料物の注ぎ方

レバーを下に軽く押すだけで飲料物が注げます。



レバーを離すと元に戻り止まります。



レバーを上げると手を離れた状態で飲料物が注げます。



本体持ち運びのときは、レバー接触などで飲料物が漏れる可能性があります。付属のキャップを閉めて持ち運んでください。

## お手入れ方法

※におい移りを防いでいつまでも清潔に使用していただくため、十分にお手入れしてください。

### 内容器・ふた・内ふた・コップ(大)(小)

- ① 食器用洗剤をスポンジなどに付けてよく洗浄します。
  - ② 水気を十分に拭き取って自然乾燥させてください。
- ※内容器は、洗浄して水気を十分に拭き取った後、ふた・内ふたをしないで自然乾燥させてください。

### 保管について

- ① お手入れが終わったら、本体に内ふた・コップ(大)(小)をセットして、ふたをしっかりと閉めます。
- ② 直射日光や高温多湿を避けて、屋内の乾燥した場所に収納・保管してください。

### 本体(外装)・ハンドル・スタンド

- ① お湯で薄めた食器用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞って汚れを拭き取ります。
- ② 柔らかい布でから拭きしてください。  
注意：本体(外装)を丸洗いしたり、食器乾燥機や食器洗い乾燥機に入れたりしないでください。

## ！ ご注意とお願い

- 氷を入れる場合には、最初に飲料物を入れ、次に小さく砕いた氷を静かに入れてください。氷を先に入れると、内容器が変形や破損して、錆・腐食・故障などの原因になります。
- 飲料物を注いだ後、コックの注ぎ口から「しずく」が落ちることがあります。しずくが落ち切るのを待ってからコップなどの容器をお取りください。
- 使用状況により、本体(外装)に結露(空気中の水蒸気が凝縮して水滴となって付着する現象)が生じることがあります。結露が生じた場合は、乾いた布で水気をよく拭き取ってください。
- お手入れの際は、塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・たわし・みがき粉・クレンザーなどを使用しないでください。損傷・錆・腐食・故障などの原因になります。

## ！ 使用上の注意

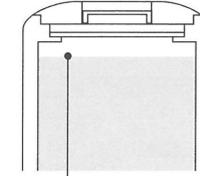
※必ずお守りください。

この製品は保冷専用です。飲料物の保冷以外には使用しないでください。

- 本体(外装)の丸洗いはしないでください。内部に水が侵入して、錆・腐食・故障・他のものを汚すなどの原因になります。



- 飲料物は、必ず内ふたの下端より少なめにしてください。入れすぎると、あふれる恐れがあります。

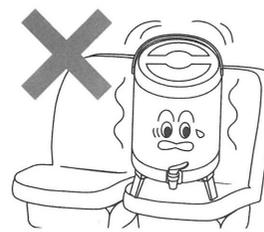


飲料物はこの位置まで。  
※必ず内ふたの下端より少なめにしてください。

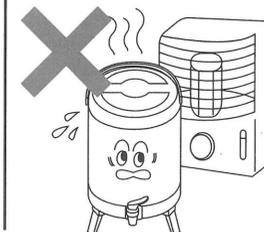
- 転倒・落下・ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。変形や破損して、故障や漏れなどの原因になります。



- 密閉容器ではありません。飲料物を入れて自動車などで運搬しないでください。他のものを汚す原因になります。



- ストーブやコンロなど、火の側や高温になるところに置かないでください。変形や変色・故障の原因になります。



- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、いたずらには十分注意してください。



- お湯などの熱い飲料物を入れての使用は絶対にしないでください。変形や故障して、飲料物が漏れたり、他のものを汚したりする原因になります。

- 次のようなものは絶対に入れないでください。

※ドライアイス・炭酸飲料。

(内圧が上がってふたが開かなくなったり、飲料物が吹き出る恐れがあります。)

※スポーツドリンク・アルカリイオン水など。(内容器の変色・錆・腐食の原因になります。)

※牛乳・乳飲料など。(腐敗や変質の恐れがあります。)

※みそ汁・スープなどの塩分を含んだもの。(内容器の変色・錆・腐食の原因になります。)

※果肉・お茶の葉など。(つまる・漏れるなどの原因になります。)

- 平坦で安全な場所を選んで安定性よく設置して使用してください。
- 内ふた・コップ(大)(小)をセットして、ふたを確実に閉めて使用してください。
- 持ち運ぶ際は、必ずハンドルの中央を持って本体を水平にしてください。
- 傾ける・横置きにする・振動を与えるなどしないでください。飲料物が漏れたり、他のものを汚したりする原因になります。
- 重いものを載せたり、座ったりしないでください。変形や、破損・転倒の原因になります。
- 缶類やビン類などを直接入れないでください。本体内側の変形や損傷・故障の原因になります。
- 本体の転倒や破損による水漏れでパソコンやテレビなどの電気製品の故障になる場合がありますので、電気製品の近くで使用しないでください。
- 使用後は、必ず残った飲料物を捨て、早めにお手入れしてください。
- 飲料物を長期保存しないでください。飲料物が腐敗や変質したり、内容器に変色・錆・腐食が発生する原因になります。
- 食器乾燥機や食器洗い乾燥機に入れたりしないでください。変形や破損したり、内部に水が侵入して、錆・腐食・故障・他のものを汚すなどの原因になります。